



子育て



教育



基盤整備

特集 平成31年度予算

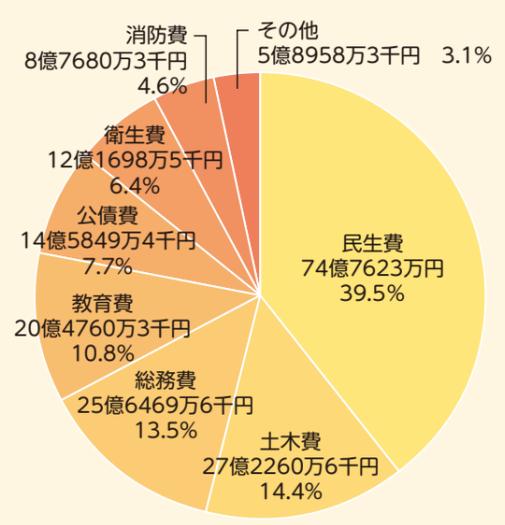
市議会3月定例会において、平成31年度当初予算が原案のとおり可決され、市財政の中心となる一般会計予算額は189億5300万円で、前年度と比較して12億6500万円(7.2パーセント)の増となりました。今月は、今年度の予算と主な事業を紹介します。

一般会計歳出

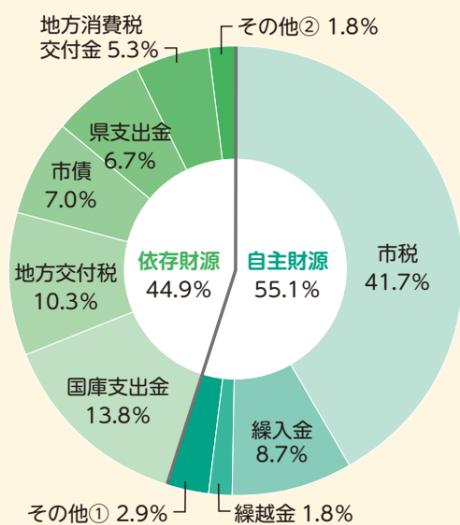
一般会計歳出の状況 (性質別)

区分	予算額	前年度比増減額	増減率 (%)
人件費	38億7454万3千円	1415万1千円	0.4
物件費	25億1655万円	7441万8千円	3.0
維持補修費	5612万8千円	1430万1千円	34.2
扶助費	44億2236万4千円	1億8034万6千円	4.3
補助費等	20億4464万円	7億8036万7千円	61.7
公債費	14億5849万4千円	△9482万1千円	△6.1
積立金	13万3千円	4千円	3.1
貸付金	1625万円	△300万円	△15.6
繰入金	28億1341万6千円	△1億3398万7千円	△4.5
普通建設事業費	17億3048万2千円	4億3322万1千円	33.4
予備費	2000万円	0円	0.0
合計	189億5300万円	12億6500万円	7.2

一般会計歳出の状況 (目的別)



一般会計歳入



一般会計歳入の状況

区分	予算額	前年度比増減額	増減率 (%)
自主財源	104億3812万8千円	9億351万8千円	9.5
市税	79億1276万1千円	1億2579万4千円	1.6
繰入金	16億5466万2千円	8億6193万3千円	108.7
繰越金	3億5000万円	3000万円	9.4
その他①	5億2070万5千円	△1億1420万9千円	△18.0
依存財源	85億1487万2千円	3億6148万2千円	4.4
国庫支出金	26億1396万1千円	4453万8千円	1.7
地方交付税	19億6000万円	3000万円	1.6
市債	13億2320万円	7010万円	5.6
県支出金	12億7465万3千円	2億53万9千円	18.7
地方消費税交付金	10億500万円	1000万円	1.0
その他②	3億3805万8千円	630万5千円	1.9
合計	189億5300万円	12億6500万円	7.2

※その他①…分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、諸収入
 ※その他②…地方譲与税、配当割交付金、地方特例交付金、自動車取得税交付金、環境性能割交付金、株式等譲渡所得割交付金、諸収入、利子割交付金、交通安全対策特別交付金

2019年度 財政課財政担当(内線)2006

予算書は、市役所行政資料コーナー、図書館及び市ホームページで閲覧できます。

基盤整備
 市役所敷地内にシルバー人材センター事務所等建設工事を行います。これにより、耐震化計画に位置付けられている市有建築物の耐震化率が100パーセントとなります。また、防災の基盤づくりのため、防災行政無線デジタル移動系施設整備工事を行います。

教育
 児童・生徒の安心・安全を第一に考え、蓮田北小学校特別教室棟屋根改修や黒浜中学校大規模改修工事を行います。また、国指定史跡黒浜貝塚整備事業を引き続き進めます。

子育て
 東保育園の改築工事が完了し、リニューアルオープンします。また、安心・安全な子育て環境の整備のため、関戸保育園の園庭の改修工事や西城沼公園のコンビネーション遊具の更新を行います。

一般会計歳出
 税分の増額を見込んでいます。地方交付税は、例年の交付実績を参考に算出し19億6000万円、前年度と比較して3000万円(1.6パーセント)の増額を見込んでいます。

一般会計歳入
 市税は、79億1276万1千円で、前年度と比較して1億2579万4千円(1.6パーセント)の増額を見込んでいます。個人市民税は、前年度の状態を踏まえて微増、固定資産税は、新築家屋に対する新規課

今年度も市政運営の基本である第5次総合振興計画の実現に向け、「子育て・教育・基盤整備」を柱に、さまざまな行政課題に取り組みます。

蓮田市は人口が緩やかに減少しており、将来の市税収入は厳しい状況が予想されます。一方で、社会保障費の増加、都市基盤の整備、公共施設の老朽化対策など、さまざまな課題への対応が求められています。こうした状況下でも、平成30年度には西口再開発ビルの建設をはじめ、高虫西部地区産業団地の整備、東日本高速道路株式会社が進めている蓮田サービスエリア(新上り線)の建設など、多くの事業が進行しています。また、2月に公開となった、蓮田市で実際にあった疎開保育園の出来事を基に製作された映画「あの日のおルガン」を活用したシテイセールスも推進しています。

一般会計は前年度比7.2%増の189億5300万円

未来の希望が輝くまちをつくる

子育て環境を整備し、結婚から妊娠、出産、子育て、教育に至るまで切れ目のない支援を行います。

社会全体で子ども・子育てを支援する仕組みを構築します

- ◆子ども・子育て支援事業計画策定事業(子ども支援課)
市単独 380万3千円



平成30年度に実施したアンケート調査等を基に、第二期子ども・子育て支援事業計画を策定します。

- ◆婚活推進事業(子ども支援課) 市単独 5万4千円
- 不妊治療助成事業(子ども支援課) 448万5千円
(県111万円・市337万5千円)
- 妊婦健康診査事業(子ども支援課) 市単独 4165万4千円
- こども医療費助成事業(子ども支援課) 2億376万1千円
(県2665万円・市1億7711万1千円)
- ひとり親家庭等医療費助成事業(子ども支援課) 2449万7千円
(県1020万円・市1429万7千円)
- 生活困窮者自立支援事業(福祉課) 893万5千円
(県525万1千円・市368万4千円)
- ◆公園整備事業(みどり環境課) 4952万5千円
(市4752万5千円・県200万円)
- 遊具や施設の改修・更新を行います。
- 保育所運営事業(保育課) 2億2377万2千円
(県310万6千円・市7178万7千円・他1億4887万9千円)
- 民間保育施設支援事業(保育課) 2747万円
(県1640万4千円・市1106万6千円)
- ◆学童保育所運営事業(保育課) 1億6341万8千円
(県6424万2千円・市5608万8千円・他4308万8千円)
- 私立幼稚園就園支援事業(保育課) 1億3910万円
(県4590万円・市9320万円)

- ◆教育指導業務経費(学校教育課) 市単独 552万1千円
教育指導にかかる経費です。映画「あの日のオルガン」の上映会を小・中学校で開催します。
- ◆小中学校情報化推進事業(学校教育課) 市単独 6407万5千円
小学校のパソコン教室の情報教育機器を再構築します。また、プログラミング教育を実施します。
- ◆教科書採択対応指導書等整備事業(学校教育課) 市単独 2276万円
- 発達支援センター推進事業(学校教育課) 市単独 125万8千円
- ◆小学校放送設備整備事業(黒浜小学校)(教育総務課) 市単独 248万円
- ◆黒浜中学校大規模改修事業(教育総務課) 1億9755万9千円
(県6527万9千円・市3828万円・他9400万円)
長寿命化のための改修工事を平成31年度から3年間の継続事業により実施します(継続費10億3000万円、債務負担行為4130万3千円)。
- ◆小学校校舎整備事業(蓮田北小学校)(教育総務課) 市単独 2880万円
蓮田北小学校特別教室棟屋根の改修工事を行います。
- ★中学校校舎整備事業(黒浜西中学校)(教育総務課) 市単独 200万円
黒浜西中学校校舎トイレ改修工事の設計を行います。
- ★小中学校施設長寿命化計画策定事業(教育総務課) 市単独 2640万円
全小・中学校の建築物の構造躯体、屋根、外壁等について調査します。
- ★スクール・サポート・スタッフ配置事業(教育総務課) 154万2千円(県96万4千円・市57万8千円)
教員の事務支援を行うスタッフを配置します。



第5次総合振興計画基本構想の6つの基本政策別

平成31年度一般会計予算の主な事業

新規事業→★ 一部新規事業→◆
 財源内訳
 国費→国 県費→県 市費→市 市債→債 その他→他

健康で安心して暮らせるまちをつくる

健康で安心・安全に暮らしていくために、福祉環境の整備、各種制度の適正な運営、防犯体制の更なる充実を図ります。

蓮田サービスエリア(新上り線)の整備に合わせバス転回場を整備します

- ◆公共交通整備事業(都市計画課) 市単独 1501万8千円



提供 東日本高速道路株式会社

川島地区に東日本高速道路株式会社が建設中の東北自動車道蓮田サービスエリア(新上り線)は、サービスエリアの外からも施設利用が可能になる予定です。バス転回場を整備し、利便性の向上を図ります。

- 障がい者自立支援給付事業(福祉課) 9億7337万3千円
(県7億2291万9千円・市2億5045万4千円)
障がいのあるかたへの支援体制の充実を図ります。
- 障がい者地域生活支援事業(福祉課) 5906万5千円
(県2060万5千円・市3846万円)
- 老人福祉センター運営事業(長寿支援課) 3438万6千円
(市3437万6千円・他1万円)
- 生活保護扶助事業(福祉課) 8億9163万9千円
(県6億8624万3千円・市2億539万6千円)
- ◆保健センター維持管理事業(健康増進課) 市単独 484万5千円

- がん検診事業(健康増進課) 8253万9千円
(国20万2千円・県8092万3千円・他141万4千円)
- ◆自主防災組織育成事業(危機管理課) 422万8千円
(県10万円・市412万8千円)
- ◆防災行政無線維持管理事業(危機管理課) 市単独 1023万5千円
- ★防災行政無線デジタル化整備事業(移動系)(危機管理課) 6579万6千円
(県639万6千円・市5940万円)
移動系防災行政無線について、アナログ方式からデジタル方式に移行するための工事を行います。
- ★IP無線整備事業(危機管理課) 市単独 215万2千円
災害時における多様な通信手段の確保を目的に、携帯電話網を利用したIP無線機を整備します。
- 自治会活動支援事業(自治振興課) 市単独 245万円
- ◆シルバー人材センター事務所等建設事業(庶務課) 4億7753万8千円
(市1億2803万8千円・県3億4950万円)
市役所敷地内にシルバー人材センター事務所、会議室や倉庫・書庫の機能を備えた別棟の建設工事を行います。
- ◆通信施設整備事業(消防課) 市単独 760万円
- ◆消防団運営業務経費(消防課) 市単独 2093万4千円
- 河川・排水路維持管理事業(道路課) 市単独 4767万4千円
- ◆かんがい排水整備事業(農政課) 2723万9千円
(県330万円・市1833万9千円・他560万円)
農業施設の用排水路等の整備、綾瀬川の改修協議を県と行うための調査設計を行います。
- 消費生活相談推進事業(商工課) 374万7千円
(県73万6千円・市301万1千円)

潤いのある快適なまちをつくる

都市機能の向上を図り、公共施設等の整備や適正な維持管理を推進し、地域の活性化につなげます。

西口再開発ビルの建設を進めています

蓮田駅西口第一種市街地再開発事業特別会計繰出金(西口再開発ビル開設準備室)

8億9187万5千円
(市単独6687万5千円・国8億2500万円)



基礎工事中の西口再開発ビル

蓮田白岡衛生組合運営事業(みどり環境課)

市単独6億1000万7千円

空き家対策事業(建築指導課)

市単独31万5千円

生活道路改良重点整備事業(道路課)

1億2836万1千円
(国550万円・市1億1886万1千円・国400万円)

橋りょう長寿命化対策事業(道路課)

1919万5千円
(国605万円・市1314万5千円)

★県道蓮田鴻巣線歩道整備事業(都市計画課)

国1億4000万円

歩道整備に必要な調査、用地買収を行います。

地域活動が活性化されたまちをつくる

地域の活性化を図るため、市民、団体、企業などの多様な主体と協働し、時代に合った地域づくりを行います。

◆コミュニティセンター駐車場拡張事業(自治振興課)
市単独1100万円

SNS配信・蓮田駅発車メロディ事業(広報広聴課)
市単独32万1千円

★産・学・官連携事業(政策調整課) 515万9千円
(国196万円・市319万9千円)

人間総合科学大学と連携してイベント等を開催し、のくぼ通り周辺の商店の活性化及び市のPRを図ります。

★都市計画マスタープラン改定及び立地適正化計画策定業務委託(都市計画課)

1900万円
(国482万9千円・市1417万1千円)

都市計画マスタープランの見直しを行い、コンパクトシティの形成を推進するため、立地適正化計画を策定します。

◆市税等徴収業務経費(収納課) 1326万円
(市単独1256万円・国70万円)

★窓口用タブレット使用料(市民課)
市単独6万1千円

来庁した外国人や聴覚障がいのあるかたとのコミュニケーションの手段として、多言語音声翻訳アプリや聴覚障がい者支援アプリを搭載したタブレットを窓口へ配置し、市民サービスの向上を図ります。

★戸籍の附票業務自動化事業(市民課)
市単独292万6千円

学び合い、豊かな心を育むまちをつくる

地域の文化活動を盛んにし、人が集まり、学び合い、豊かな心を育む機会を創出します。

成人式実施事業(社会教育課) 市単独120万6千円

市民文化団体活動支援事業(社会教育課)
市単独180万9千円

◆図書館維持管理(空調設備及び中央監視装置等改修)事業(社会教育課)

6010万円
(市単独1700万円・国4310万円)

図書館の空調設備の一部と、関連する機械設備を監視する装置の改修工事を行います。

◆図書館情報ネットワーク推進事業(社会教育課)
市単独1303万9千円

埋蔵文化財保存事業(社会教育課) 1072万円
(国465万1千円・市606万9千円)

文化財展示施設運営事業(社会教育課)
市単独1236万1千円

中学校国際親善訪問団派遣事業(学校教育課)
447万3千円
(市単独238万3千円・国209万円)



総合文化会館運営事業(文化スポーツ課)
3315万4千円
(市単独2965万4千円・国350万円)



◆総合市民体育館サブアリーナ調査業務(文化スポーツ課)
市単独300万円

総合市民体育館サブアリーナについて、建築基準法等の調査や関係機関との協議を行い、増築方法を調査します。

スポーツ団体等支援事業(文化スポーツ課)
市単独228万6千円

人権教育推進事業(社会教育課) 市単独108万6千円

人権啓発推進事業(庶務課) 市単独203万3千円

いじめ防止対策推進事業(庶務課・学校教育課)
市単独19万5千円

平和行政推進事業(庶務課) 市単独99万4千円

平和の標語書道展や映画上映会を開催し、戦争の悲惨さや平和のたいせつさを伝える施策を実施します。

男女共同参画推進事業(庶務課) 市単独37万7千円

地域の資源が活きるまちをつくる

豊かな市民生活と地域経済を支えるため、農業、商業、工業の振興を図り、活力のある産業を推進します。

◆企業立地促進事業(産業団地整備課)
市単独907万7千円

高虫西部地区産業団地の整備事業における環境影響評価調査計画書を策定します。

農業振興地域整備計画事業(農政課)
市単独340万円

農業振興地域整備計画の見直しを行います。

★創業支援事業(商工課) 市単独40万円

創業を希望するかたへのセミナーの開催や、起業したかたへの補助金の交付などを行います。

★プレミアム付商品券事業(商工課)
国1617万7千円

消費税率の引上げによる低所得者・子育て世帯への影響の緩和を目的に、プレミアム付商品券を販売します。

商工会支援事業(商工課) 市単独2700万円

母子家庭等自立支援事業(子ども支援課)
906万円(国679万5千円・市226万5千円)

埼玉型ほ場整備事業(農政課) 3705万円
(市単独1075万円・国2630万円)

国指定史跡黒浜貝塚の史跡公園化に向けて整備を進めます

◆国指定史跡黒浜貝塚整備推進事業(社会教育課)
1億5000万円
(国7418万9千円・市3451万1千円・国4130万円)

黒浜貝塚の自然を遺跡空間として保全し、史跡公園とする整備工事を平成27年度から実施しています。平成31年度に行う第5期整備事業では、縄文時代の人々の生活を再現するARコンテンツを作成します。

ARとは、目の前の風景にスマートフォンやタブレットをかざすことで、実際には見えない情報を現実の風景に重ね合わせて表示する技術です。史跡公園内に設けられるARポイントでは、縄文時代の人々の生活風景をのぞくことができるようになります。



会計名	予算額	前年度比増減額	増減率(%)		
特別会計	国民健康保険	66億7820万2千円	2億4422万6千円	3.8	
	後期高齢者医療	9億4037万2千円	2707万4千円	3.0	
	介護保険	49億9455万円	2億8136万6千円	6.0	
	黒浜土地区画整理事業	1676万円	△1789万6千円	△51.6	
	蓮田駅西口第一種市街地再開発事業	10億5009万6千円	4億2346万4千円	67.6	
公営企業	水道事業	収益的収入	13億3445万1千円	1223万2千円	0.9
		収益的支出	12億236万9千円	4475万2千円	3.9
		資本的収入	2億7461万4千円	8514万4千円	44.9
		資本的支出	4億9596万1千円	△1201万2千円	△2.4
	下水道事業	収益的収入	13億708万8千円	-	皆増
		収益的支出	12億7522万6千円	-	皆増
		資本的収入	7億3509万1千円	-	皆増
		資本的支出	9億1756万5千円	-	皆増



蓮田駅西口第一種市街地再開発事業
市の公益施設等の権利床等整備費負担金、再開発ビルの施設や駐車場等の共用部分に対する特定建築者補助金など、再開発ビル建設に伴う関係経費を計上しています。平成32年10月の再開発ビルの完成に向け、いっそうの進捗を図ります。

国民健康保険
医療費に対する保険給付費、国民健康保険事業費納付金、特定健康診査や保健指導を実施するための保健事業費などを計上しています。

後期高齢者医療
後期高齢者医療広域連合への保険料の納付金や徴収費としての事務経費を計上しています。

特別会計

介護保険
要介護・要支援認定のかたの介護保険サービス利用に伴う保険給付費、介護予防事業の推進や、地域包括支援センター運営のための地域支援事業費などを計上しています。

黒浜土地区画整理事業
換地処分に伴う清算金の徴収・交付事務及び保留地の所有権移転登記事務等を行います。

水道事業（公営企業会計）
浄水場からの重要な配水管路である市道55号線や、城沼公園通りの市道46号線など

下水道事業（公営企業会計）
4月1日から、地方公営企業法を適用しました。西新宿地内の污水管への浸入水を防ぐための修繕及び、黒浜地内、東埼玉病院の敷地内を通過する新設道路に污水管を布設する工事に係る経費を計上しています。

企業会計
収益的収入と支出：企業の経営活動により発生する収益と、それに対応する費用
資本的収入と支出：企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良費や、企業償還金などの支出と、その財源となる収入

農林水産業費：農業の振興など
土木費：道路・公園・再開発などの都市基盤整備
消防費：消防活動、消防施設整備、災害対策など
教育費：学校・図書館・公民館・文化会館の運営、文化財保護など
公債費：市の借金の返済など

歳出（目的別）
総務費：全般的な管理業務、交通対策、自治振興、徴税、戸籍、選挙など
民生費：福祉、生活保護、保育園・児童保育所の運営など
衛生費：ごみ・し尿処理の負担金、健診・検診、予防接種など

市の一般会計予算を
年収500万円の家庭に置き換えると...

はすだ家の家計簿



はすださん一家は、会社員のお父さん、パートで働くお母さん、ハナさん、ミズキさんの4人家族。年収は500万円です。大学に通うハナさんは、関西で独り暮らしをしています。

収入			支出		
項目	金額	予算上の区分	項目	金額	予算上の区分
給料	208万円	市税	食費	102万円	人件費
パート収入	16万円	使用料・手数料など	医療費	116万円	扶助費
実家からの援助	189万円	地方交付税、国・県支出金など	日用品の購入、光熱水費など	66万円	物件費
銀行ローン	35万円	市債	自治会費、クラブ活動費など	54万円	補助費等
預貯金の取り崩し	43万円	繰入金	子どもへの仕送り	74万円	繰出金
繰越金	9万円	繰越金	その他	5万円	維持補修費など
合計	500万円		借金の返済	38万円	公債費
			家の増改築、車の購入	45万円	普通建設事業費
			合計	500万円	

家族で働いて得た収入
224万円

生活に必要なお金
417万円

家の増改築（普通建設事業費）のために銀行ローン（市債）を活用しよう。

安心・安全な暮らしのために必要なのね。

生活費はなかなか削れないけれど、光熱水費（物件費）などの節約もがんばっているわ。



はすだ家の家計を解説します
家族で働いて得た収入（市税等）だけでは生活に必要なお金を賄うことができないため、実家からの援助（地方交付税等）や預貯金の取り崩し（繰入金）が必要となります。また、家の増改築や車の購入（普通建設事業費）時期が重なり、銀行ローン（市債）でやりくりしています。

用語解説

一般会計：地方公共団体の中心となる会計で、行政運営の基本的な経費を計上するもの
特別会計：一般会計と区別し、特定の歳入を特定の歳出に充てて経理する会計
企業会計：事業による収入で運営される会計

歳入

市税：市民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税、市たばこ税
地方交付税：地方団体間の財源の不均衡を調整するため、国税の一定割合が交付されたもの
国庫支出金：市が行う事業に対する国からの負担金や補助金
県支出金：市が行う事業に対する県からの負担金や補助金
市債：事業を行うときなどに借りるもの

歳出（目的別）

農林水産業費：農業の振興など
土木費：道路・公園・再開発などの都市基盤整備
消防費：消防活動、消防施設整備、災害対策など
教育費：学校・図書館・公民館・文化会館の運営、文化財保護など
公債費：市の借金の返済など